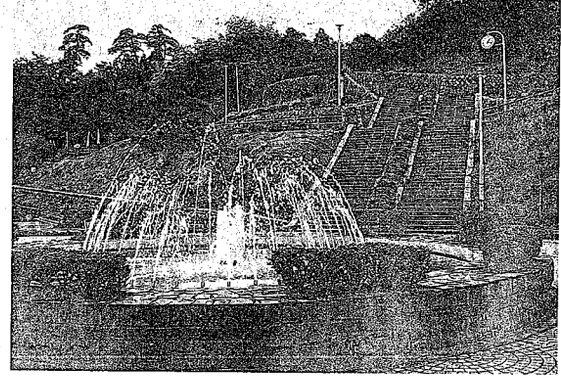


まちづくりと市の家計簿

平成4年度の決算見込みを公表します

市のお金がどのように使われ、また市の財政がどのように運営されているのかを市民の皆さんから知っていただくため、毎年二回(二月と八月)、財政事情を公表しています。

今回は、平成四年度の決算見込みをお知らせします。

4年度の決算は約4億円の黒字

平成四年度一般会計は、「個性あるまちづくり」の実現に向けて、当初予算百七十九億六千万円でスタートしました。

決算見込み額は、歳入二百十二億六千二百三十万円に対して、歳出二百六億九千二百四万円となり、差し引き五億七千二十六万円の黒字です。しかし、このうち繰越明許費繰越額(次ページの用語解説を参照)が一億六千九百五十五万円、継続費逓次繰越額(用語解説参照)が千三十三万円ありましたので、これを差し引いた実質的な黒字は三億九千三十八万円になりました。

前年度と比べてみると、まちづくりに向けた各種施策を積極的に計上し、金屋運動広場、工業団地造成など、二十一世紀の基盤となる事業が一斉に着手されたことから、歳入で一九・七%、歳出で二〇・八%それぞれ大幅に増加しました。

市税は前年比8・1%の増加

一般会計の歳入で最も大きな割合を占めているのは、皆さんから納めていただいた市税で、五十七億二千四百十六万円(前年度比八・一%増)になりました。市税は、市民税、固定資産税、市たばこ税、軽自動車税などですが、この中でも市民税が三十億四千九百六十六万円、前年度比十一・九%増と大幅に伸びました。

歳出の内訳を性質別に見ると

予算がどのような経費に使われたのかを「性質別」にみたのが、左下グラフです。

義務的経費のうち、人件費は、職員の給与や議員など各種行政委員の報酬です。公債費は、市債の返済金で、扶助費は、生活保護など社会的弱者への救済金です。

投資的経費は、すべてが普通建設事業費です。これは、道路の舗装整備や改良整備などに使われたものです。

その他の経費の貸付金は、地方産業育成資金や中小企業近代化資金などに使われました。

財政用語解説

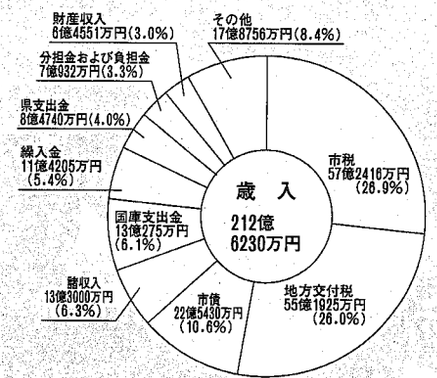
〔繰越明許費繰越額〕

歳出予算の経費のうち、その性質上または予算成立後の事由で、年度内にその支出を終わらない見込みのあるものについては、翌年度に繰り越して使用することができます。これを繰越明許費といい、実際に繰り越す金額を繰越明許費繰越額といいます。

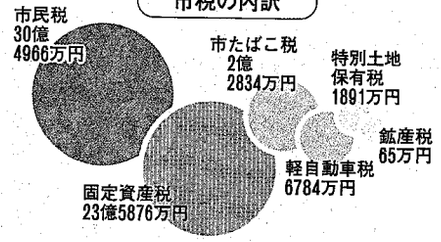
〔継続費逓次繰越額〕

ある事業において、その完了までに数年度を要するものについては、その経費の総額および年割額を定め、数年度にわたって支出することができます。これを継続費といい、年割額のうち支出の終わらなかった額を継続年度の終わりまで繰り越して使用することができます。この繰り越した額を継続費逓次繰越額といいます。

決算見込み（一般会計）

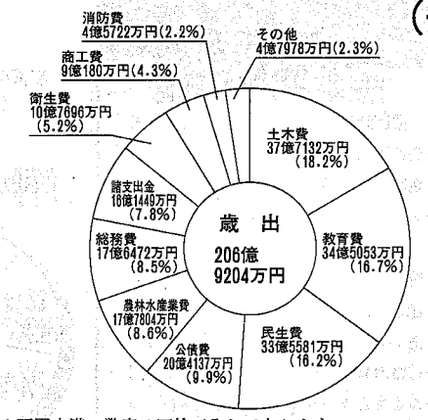


市税の内訳



平成4年度決算見込み

平成4年度（一般会計）



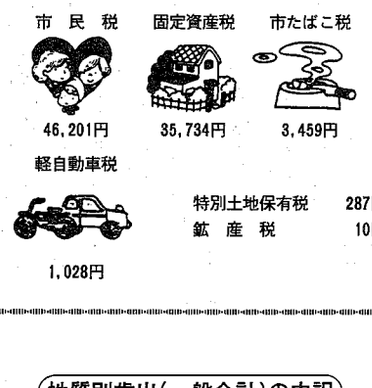
※1万円未満の数字は四捨五入してあります。

●市民1人当たりに使われたお金は…

合計 313,478円

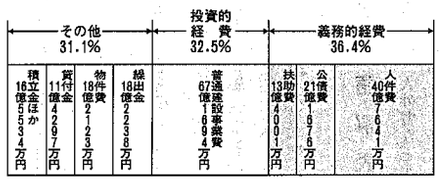
●市民1人当たりの納付済み額は…

合計 86,719円



特別土地保有税 287円
鉱産税 10円

性質別歳出（一般会計）の内訳



お買物、ご用命は市内で

朝9時30分までの受付は当日上がり
高級衣類のお手入れは……
マルヤクリーニング 持込2～3割引 ☎22-0739
正しいクリーニングと保存は
衣類の本当の節約

薬品を使わないジェット洗浄
トイレ・排水・下水管▶つまり直し・洗浄
外壁・プール・庭石▶清掃
パイプ小僧新津 ・これで安心 ・下水清掃のエキスパート
株式会社 土田浄化槽管理 ☎22-1738(代)

お買物、ご用命は市内で

・自宅葬儀
・会館葬儀
・貸花環

全館冷暖房完備
㈱越後葬祭直営
葬祭会館 紫雲殿
新津市東町1丁目 ☎(24)8330